

覺悟と非常の努力を以て組織的活動を要することは必然の要求なるを以て、平素姉妹團體の如き關係に在る日本海員組合と海友婦人會は期せずして共鳴一致し即座に非常震災海員家族救護團を組織し、處務規定を設け事務所を組合内に置き組合常務員及特志團員總動員の下に一身一家の要務を抛ち晝夜兼行全力を擧げて救護事務に當り、本部組合員即男子部は主として救護品の梱包、發送及神戸、大阪に陸續入港する船舶に對し避難家族の出迎並收容所案内其他外勤の衝に當り、婦人會員即ち女子部は救護品の調達、斡旋、寄贈品の整理並配給準備、收容所接待、避難家族慰問の部署に就くこととせり。

本團震災救護事業開始が世間に傳はるや各船舶の船員は勿論一般社會の同情翕然として湧くが如く、衣類、履物、寢具其他日用必需品の寄贈、義捐金の寄附引きも切らず續て收容所用建物、事務室の解放、避難者宿泊用寢具の無料貸與、自動車提供、義勇團及婦人慰問隊の横濱往復並救護品輸送の便宜を提供せらるゝあり。殊に特書すべきは特志車夫諸氏の數日間に亘る勞務提供及相生町理髮俱樂部

婦人部の收容避難婦人家族に對する無料結髪其他各特志家の溢るゝばかりの同情にして、眞に多くの避難家族の人々をして全く家庭的心地を感じしむる等、燃ゆるが如き周囲の同情と後援は一層本團の士氣を鼓舞し、深き感激に打たれつゝ、連日連夜の活動も尙且及ばざるを恐れ終始一貫渾身の努力を傾注せり。

### 非常震災義勇團及發動機船高見丸 並に本團婦人部慰問隊の横濱出動

救護資料を搭載せる救援船續々震災地に廻航せらるゝと雖も之に對する揚陸機關即ち小蒸汽船及舢舨皆無の爲め各船搭載の救護資料が容易に陸揚の見込立たず罹災者の窮狀は見るに忍びざるものありこの情報あり。是に對し小林、荒井、合田の諸氏より此の際本團の救護を單に海員家族のみに對する物資配給に止めずして、廣く一般罹災者を瀕死の窮地より救ひ出だす意味に於て目下行き詰まれる救護品陸揚作業の爲に奉仕すべく速に義勇團を組織し之を現場に急派すべしとの提議あり、公表の結果立所に五十四名の應募者あり。食料其他一切の費用自辨にて